



いっぱい あそぼう♪

池袋幼稚園だより 2021

9



令和3年9月1日発行
豊島区立池袋幼稚園 園長 小林 幾子
http://toshima.schoolweb.ne.jp/ikebukuro_k

おもしろそう！なんでだろう？

園長 小林 幾子

●2学期が始まりました。緊急事態宣言中の夏休みでしたが、工作や料理をしたり、戸外で遊んだり、それぞれのご家庭で工夫しながら楽しくお過ごしになったことと思います。これから子どもたちは、夏休みの楽しかった思い出を伝え合い、遊びを広げていくことでしょう。

●1学期の終業式後、プロナチュラリストの佐々木洋先生をお招きして行った家庭教育講座「親子で自然探検」には、夕方にもかかわらず多くの皆様にご参加くださいました。いつも遊んでいる大明グラウンドも、佐々木先生のお話を聞きながらたくさんの発見があり、子どもたちはいきいきと植物や生き物とふれあうことができました。ご参加くださった皆様、係の保護者の皆様に、あらためて感謝申し上げます。

●佐々木先生はご著書「ぼくはプロ・ナチュラリスト」の中で、「自然というと、遠くはなれた高い山や深い森を思い浮かべるかもしれませんが、自然は実はこの世のどこにでもあり、どこの自然にもそれぞれのすばらしさがあるのです」と仰っています。確かに、大人は思い込みや既存概念で目を曇らせ、身近にある美しさや楽しさを見逃していることが多くあるように思います。逆に、子どもは経験が多くない分、物事を素直に捉え、身近なものに興味をもち、そこにある美しさや楽しさを見つけ関わるのが得意です。

●しかし、子どもが「おもしろそう！」「なんでだろう？」と興味をもち、行動しようとしたとき、大人が先回りして答えを教えたりルートを決めたりすると、子どもは途端に興味をなくし、行動することをやめてしまいます。そしてそれが繰り返されると、興味を追求しようとする意欲や困難を乗り越える力が育たなくなってしまいます。お子さんが何かに興味をもち何かを始めようとしたら、しばらく見守ってください。そして、お子さんと一緒に様々な発見をしながら、「おもしろそう！」「なんでだろう？」を伸ばしていったらいいと思います。

●ライオンの遊具が故郷の福井で修理を終え、子どもたちを迎えています。かわいいウサギも仲間入りしました。緊急事態宣言が続く中での2学期のスタートですが、一人一人の「おもしろそう！」「なんでだろう？」があふれる充実した教育活動を進めて参ります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

今月の保育指導

りす組

- 友達に思いを伝えて遊ぶ楽しさを味わう
- 草花や虫など身近な自然に興味をもってかわる

9月は、1学期の遊びや夏休み中に経験したことを遊びに生かしながら、自分の思いを動きや言葉で友達に伝えて遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。また、虫探しや園庭や大明グラウンドの自然を通して初秋の変化に気づき、興味をもってかわれるようにしていきます。

ぶどう組

- 友達と考えを出し合いながら遊びを進めていく
- 秋の自然に興味・関心をもち、遊びに取り入れる

9月は、1学期の遊びや夏休み中に経験したことを再現しながら、友達と考えを出し合って遊びを進めていけるようにしていきます。また、大根の種撒きや大明グラウンドの虫探し等を通じて秋の自然に興味・関心をもち、遊びに取り入れられるように指導します。

